

令和5年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事概要

日 時	令和6年3月27日(水) 14:00 ~ 16:00
場 所	播磨町立播磨小学校
出席者	<p>【 播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 】</p> <p>鶴井 昌徹 (播磨町新島連絡協議会 会長)</p> <p>山田 文子 (播磨町商工会 理事)</p> <p>東岡 浩一 (加古川公共職業安定所 次長)</p> <p>田端 和彦 (兵庫大学・兵庫大学短期大学部 副学長)</p> <p>黒岩 寛 (兵庫県立播磨南高等学校 校長)</p> <p>坂本 竜之介 (神戸新聞社 東播支社 支社長)</p> <p>田中 悦子 (住民委員)</p> <p>近藤 良慈 (住民委員)</p> <p>【 町 】</p> <p>佐伯 謙作 (町長)</p> <p>平野 祐次 (副町長)</p> <p>平郡 秀幸 (教育長)</p> <p>松本 弘毅 (企画総務部長)</p> <p>山口 智 (教育委員会 事務局部長)</p> <p>【 事務局 】</p> <p>筒井 和秀 (企画課長)</p> <p>野中 照代 (企画課 公共交通活性化担当課長)</p> <p>丸井 直樹 (企画課主査)</p> <p>【 関係職員 】</p> <p>野村 眞一 (教育委員会 事務局次長)</p> <p>河合 庸子 (地域学校教育課長)</p> <p>前田 良平 (地域学校教育課 教育指導主事)</p>
代理出席	<p>小泉 和道 (兵庫県東播磨県民局 副局長)</p> <p>※【播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員】</p>

野北 浩三 (兵庫県東播磨県民局 局長) の代理
飯塚 一哉 (但陽信用金庫 地域創生部 地域・観光支援課 課長)
※【播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員】
破魔 淳司 (但陽信用金庫 地域創生部 地域・観光支援課 調査役) の代理

欠席者

【 播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 】
津村 道彦 (加古郡広域シルバー人材センター 常務理事兼事務局長)
圓行 弘幸 (播磨町労働者福祉協議会 会計)

議事1 開会

(事務局)

失礼いたします。ご案内の時間がまいりましたので、只今より「令和5年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催いたします。

本日は、大変お忙しい中、本会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。それでは、開会にあたり佐伯町長よりご挨拶申し上げます。

(町長)

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

また、平素は播磨町行政にご協力いただいておりますことについてこの場をお借りしてお礼申し上げます。

委員の皆様には日頃から大変お世話になっております。本日はご欠席ですが加古郡広域シルバー人材センター様におかれましては、会員数を増やしながら様々な分野にチャレンジしていただいております。兵庫大学様とは連携協定を締結させていただいて、本当に多くの分野でお世話になっております。兵庫県立播磨南高等学校様には町内にある県立高等学校として兵庫県立東はりま特別支援学校様と共に様々な活動をしていただいていることに感謝申し上げます。但陽信用金庫様には金融の面から地域の商工業の発展にご尽力いただいていることに、厚くお礼申し上げます。そして、神戸新聞社様には播磨町の実施する事業の周知・PRにお力添えいただいております。本当にありがとうございます。今後とも播磨町の広報についてよろしく願います。住民委員の方には、本日は特に中学校部活動地域移行についての報告や現場視察を通じて感じたことをご家族のみなさんへ話していただきたいと思っております。

結びになりますが、本日お集まりの皆さんのご健勝、ご多幸、そして播磨町がますます発展していくことを祈念いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

議事 2 委員紹介

(事務局)

続きまして、会議次第に従いまして、委員の紹介をさせていただきます。

—委員紹介—

なお、委嘱状については、本来は委員お一人ずつにお渡しさせていただくべきところですが、時間の都合上、資料と共に置かせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

また、委員の皆様の任期につきましては、参考資料1「総合戦略推進会議設置要綱第3条第3項」により「2年」と定められており、これに従い任期は年度単位として、令和7年3月31日までとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

議事 3 会長及び副会長の選出

(事務局)

続きまして、「会長及び副会長の選出」についてですが、参考資料1「総合戦略推進会議設置要綱第4条」に、「本会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定めること」となっておりますが、いかがいたしましょうか。

事務局へ一任というお声をいただきましたので、会長は、兵庫大学・兵庫大学短期大学部副学長 田端和彦様、副会長は、播磨町新島連絡協議会 会長 鶴井昌徹様をお願いしたいと思います。

それではまず、会長・副会長からご挨拶をいただきたく思います。

(会長)

先ほど皆様からご推薦いただきまして、会長という形で議事を進めさせていただきたいと思っております。

後ほど、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてご説明があると思っておりますけれども、元々はこの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というのは、仕事をつくれれば人が来る、人が来ればまちづくりができる、という順番で考えていました。しかし、仕事づくりは行政だけでは難しく、まちづくり、人づくりの観点で今回の中学校部活動地域移行という施策があり、さらには次の世代へのまちづくりを考えていくということになります。昨今は人手不足に注目が集まっていますが、忌憚のないご意見を取りまとめながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(副会長)

新島は播磨町全体の約3割の面積を占めており、約53社の会社が操業しています。私の役割は産業分野に関するコメントをすることが主になると思いますが、プライベートでは2人の小学生がいる子育て世代でもありますし、高齢の両親が播磨町に住んでいますので、そういった立場からも意見をお伝えし使命をしっかりと果たしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。それでは、これ以降の議事進行につきましては、田端会長にお願いしたいと思います。それでは、会長よろしく願いいたします。

(会長)

議事進行が円滑に進みますよう、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。では、議事に入らせていただきます。それでは、次第に沿って進めていきます。

まず、報告事項(1)第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、(2)主要施策取組状況及びKGI・KPI進捗状況について一括して事務局より説明をお願いします。

議事4 報告事項

(1) 第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

－説明－

(2) 主要施策取組状況及びKGI・KPI進捗状況について

－説明－

(会長)

それでは、只今の事務局からの報告事項について、何かご質問やご意見はございませんか。

(町長)

播磨町では各小中学校の体育館に冷暖房設備、また、各小学校にはウォータークーラーを設置します。そして、令和6年度は待機児童解消のために保育施設を募集し、更に、令和8年度には幼稚園に給食を導入します。

(会長)

町長から教育関係のお話がありましたが、年少人口の割合が目標値と比べて0.1%下回っているとはいえ、14.4%となかなか立派な数字となっています。

(委員)

兵庫県内全体の水準からすると播磨町はどのようなのでしょうか。

(事務局)

兵庫県の平均が13.7%、東播磨県民局管内の平均が14.2%であり、明石市が14.0%、加古川市が14.7%、高砂市が14.3%、稲美町が13.5%、そして播磨町が14.4%となっています。

(会長)

町内総生産額が増加しているのには何か理由があるのでしょうか。

(町長)

景気が好調という中で、円安の影響もかなり強いのかなと思います。播磨町の税収も今後増加を見込んでいます。

姫路港、東播磨港、神戸港が一体となって播磨臨海地域のカーボンニュートラルポートを形成し、脱炭素に向けた取組みを進めていくことになりました。しかしながら、播磨町の新島にはもう用地がないので困っているという話を国に要望しました。新島の企業の皆様にご負担いただく税金は播磨町の税収の約半分を占めています。新島を拡張することができますので、ぜひとも皆様のお力をお借りしながら新島を拡張するという夢の実現に向けて進めていきたいと思っています。

(副会長)

主要政策32の「企業誘致事業」ですが、播磨町の面積は小さく、新島にもあまり土地はありません。この政策自体は必要だと思いますが、町内従業者数を増やすというKPIとリンクしているのかなと思います。今、各企業、特に中小企業が人手不足に非常に苦しんでいます。こちらに対しての支援、例えば町民だけでなく、町外の人にも企業の魅力を発信する等、人手不足対策を一緒に考えていただきたいと思っています。

(町長)

現在、町と商工会が連携して町内企業の説明会開催に向けて関係各所と調整しています。高校、大学にも声をかけさせていただこうと思っていますので、ご協力の程よろしく願います。

(委員)

人手不足という話がありましたが、今後日本人だけでなく外国籍の方が働き手になっていく可能性もありますので、播磨南高校でも入試は日本語が不十分な方向けにルビを振った受験用紙を用意するような対応をしています。

今、播磨町では外国の方はどのくらいの割合がいらっしゃるのでしょうか。

(副町長)

今、町内には 500 名ほど外国籍の方がおられますが、特にベトナム国籍の方が多くなってきています。

学校現場はもちろん、その親御さん、働きに出ている方や家にいるご家族、そのような方々が地域住民としてどのような地域活動ができるのか。また、その方々に対してどのような取り組みができるのか、町としてもいろんなところと協力しながら考えていきたいと思っています。

(部長)

外国籍の住民の方の人数ですが、微増微減を繰り返しながら、5年前から約 40 人の増となっている状況でございます。

(委員)

どこの地域も人手不足と言われており、様々な形で企業説明会を実施するということがすごく大事だと思いますし、ハローワークとしても面接会など、企業と就労を希望する方とを結びつける場面を作っていますので、播磨町でもそういった企業がありましたらお声掛けいただきたいと思います。場合によっては新島地域に限定した企業の面接会も可能だと思います。

(委員)

兵庫県でもいろんな施策を実施していますが、今一番危惧しているのは情報発信に関してあまりにも不十分ではないかということです。その施策の対象によって発信方法が変わってくると思います。高齢者には紙の方がいいだろうし、若い人にはモバイルの方がいいと思うので、広く知らしめるためには一つの方法だけでは難しいと思います。1995 年から 2010 年に生まれた、いわゆる Z 世代が子育て世代となっており、生まれたときからインターネット環境が整っているいわゆるデジタルネイティブ世代ですので、子育ての情報は紙ではなくモバイルで発信をしなければならなくなっています。その辺はやはり工夫をしていく必要があるかなと思っています。

(町長)

播磨町も子育てアプリを入れており、予防接種も全部記録されるようになっていきます。今は母子手帳ではなくアプリで管理してもらう時代になっています。ただ、施策の情報発信は大変難しく、やはり住民の皆さんも情報を得るという意識をもってもらう必要があると思います。行政は住民の皆さんに分かりやすく説明していく必要があるので、町も情報発信について勉強しなければなりません。今後も調査・研究をしながら適切な情報発信に努めていきたいと思っています。

(会長)

住民の方々と行政との協働については、1970年代の情報公開が始まりになりますが、近年はその情報の量が非常に多く、情報発信する側がいかにか工夫していくかということが、今後のまちづくりにおいても重要になってくると思います。

それでは、他にご意見はございませんか。ないようでしたら、司会を事務局にお返しします。

(事務局)

田端会長、円滑な議事進行をありがとうございました。

委員の皆様には、熱心なご審議を賜りありがとうございました。

議事5 中学校部活動地域移行について

(1) 概要説明

－説明－

(2) 現場視察及び意見交換（※体育館へ移動）

「意見交換の様子は別添の写真をご覧ください。」

議事6 閉会

(事務局)

それでは、意見交換会についてこれで終えたいと思います。ハンドボール部の部員のみなさん、指導者の皆様、保護者の皆様、本日はありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、貴重なご意見ありがとうございました。今後ともご指導・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。なお、本日の会議の議事録につきましては、後日、町のホームページで公開させていただきます。

それでは以上をもちまして、令和5年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を閉会いたします。皆様、本日はありがとうございました。